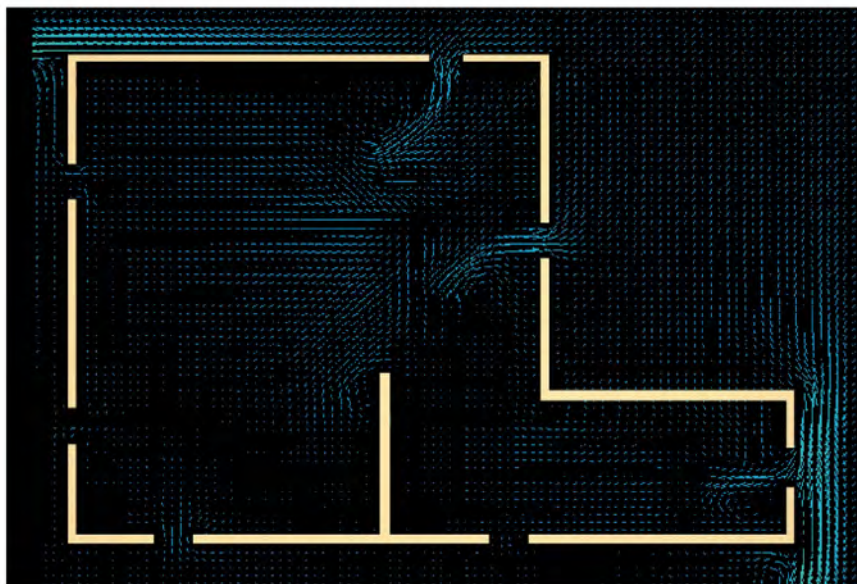
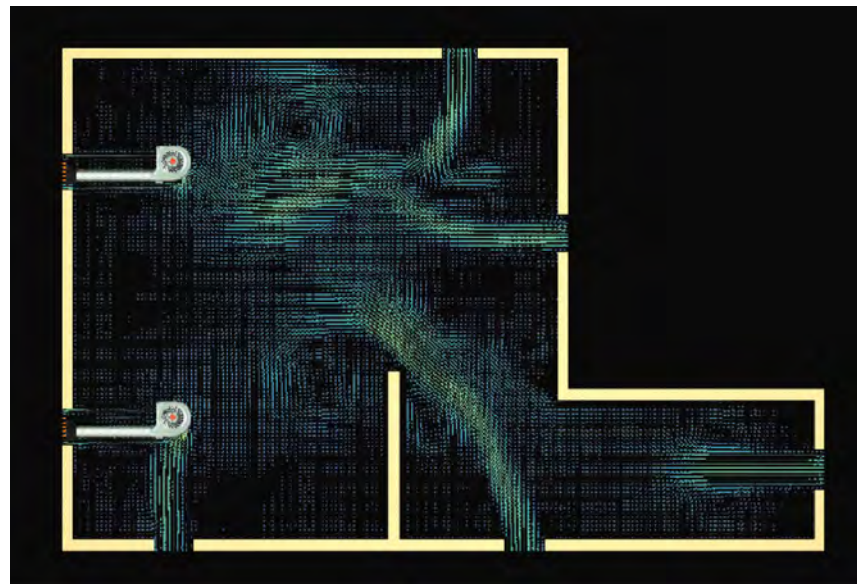


タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について



①自然の風 (右上から左下に1 m/sの風)

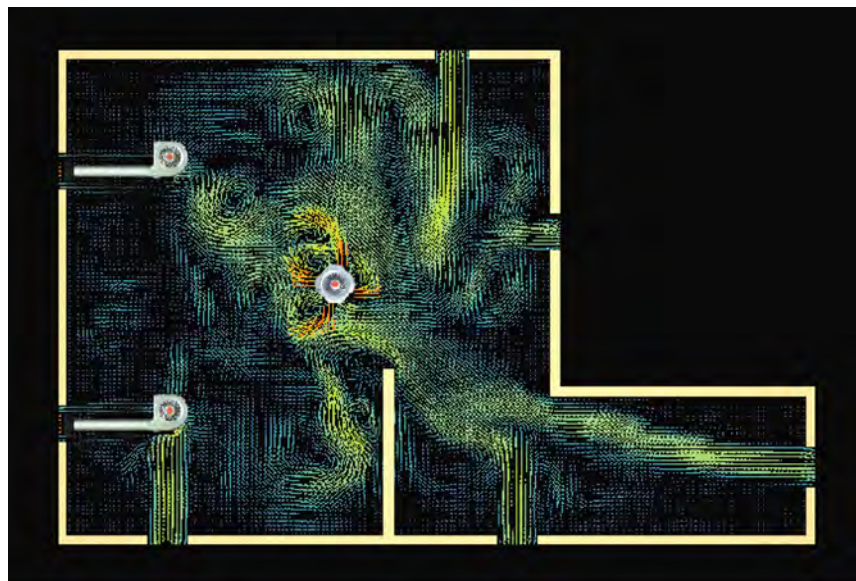
風上方向換気口は少し動いていますが他はほとんど空気の動きはありません。この状態は家の周囲に塀などがまったくない風の動きです。実際は、塀や植木などの障害物が多く、床下の空気はほとんど動かないのが想像できます。



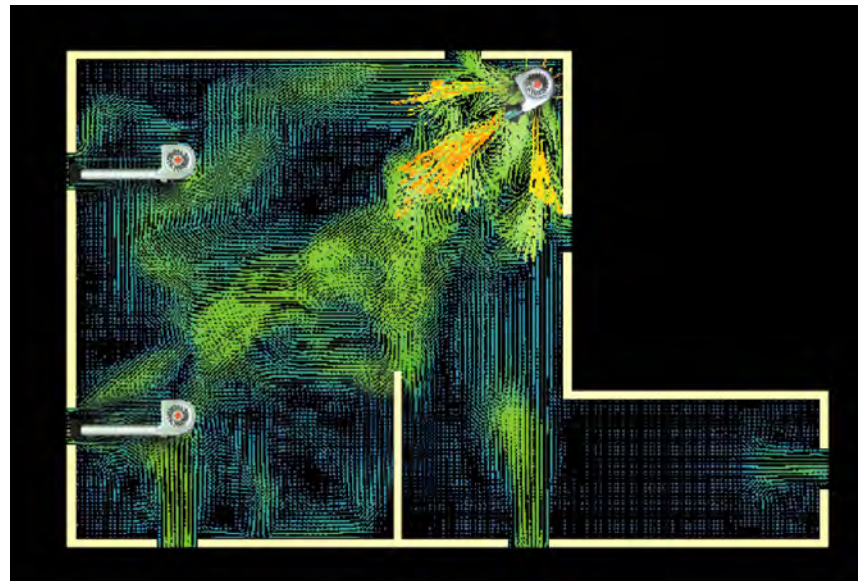
②排気のみ (ブロー型・2台設置)

ほとんど風の動かない床下でブロー型換気システム、タービン・ブローにむかって換気口から勢いよく風が流れ込んでいくところが見られます。この排気によって床下の湿気を外に追い出します。風の流れは最短距離を通るため、中基礎のコーナーあたりに空気のだよむところが発生します。

タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について

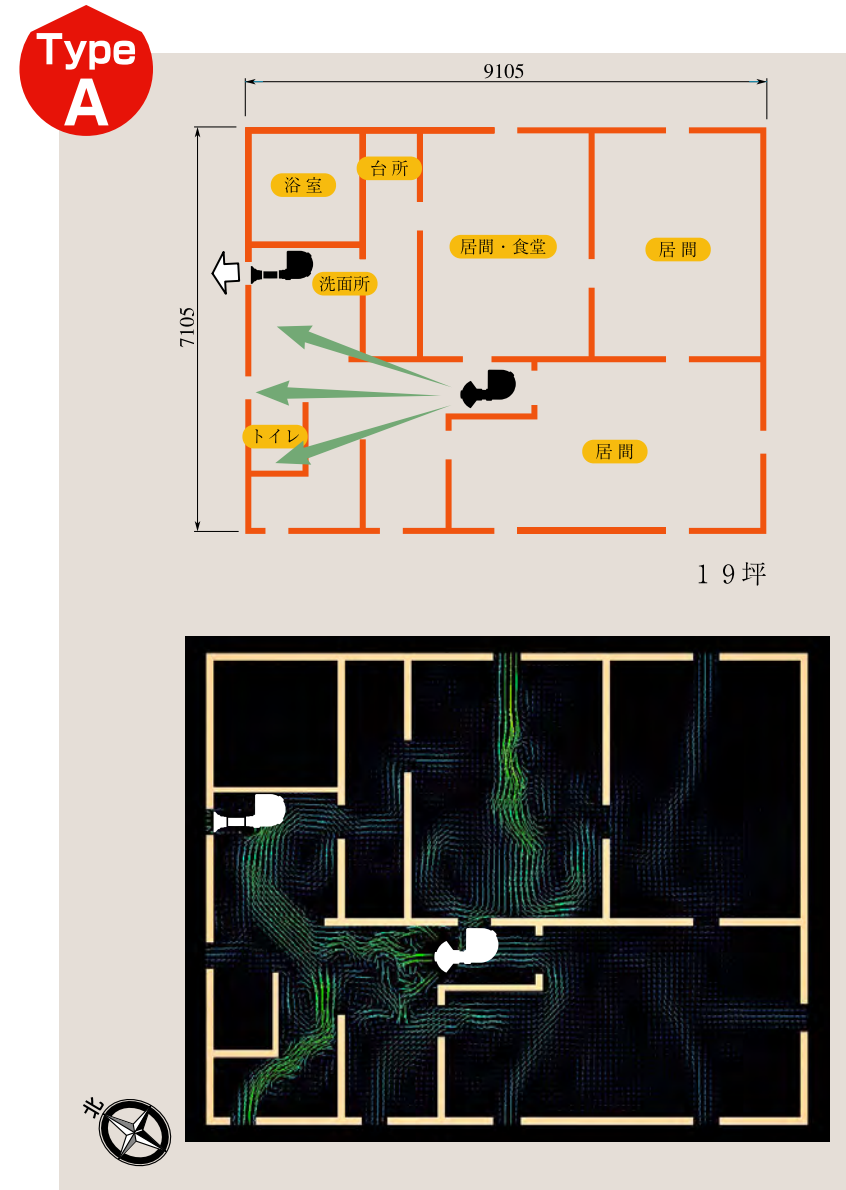
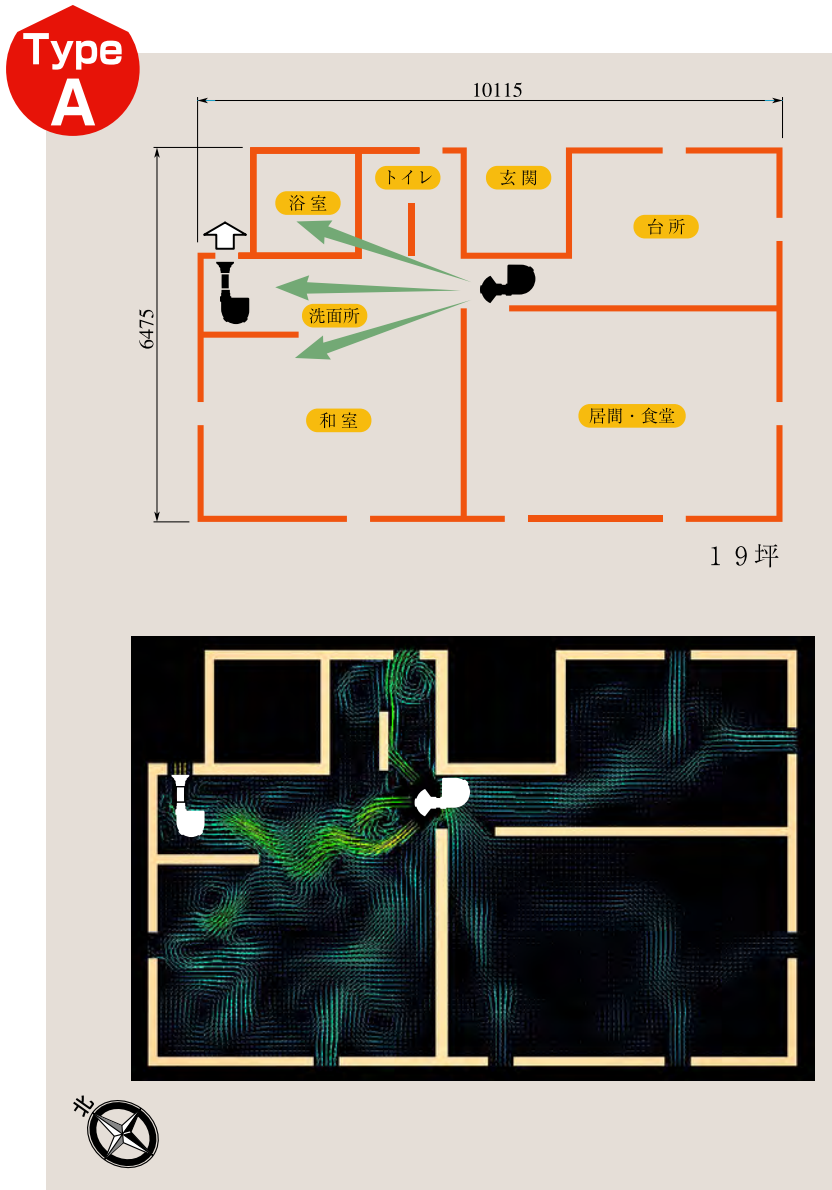


③排気＋攪拌（ブロー型・2台、攪拌型・1台）
風があまり動かない床下中央付近に攪拌型送風機を設置すると4方向または6方向に吹き出す風でほぼ均等によどみなく攪拌し、床下の空気を動かしているのを見ることができます。



④排気＋拡散（ブロー型・2台、拡散型・1台）
左上コーナーに設置した拡散型送風機が力強く風を吹き出し、床下の空気を拡散しているのが見られます。この拡散型は強い方向性をもっているため、湿気の多い場所に向けたり、排気の中継としての使い方も可能です。

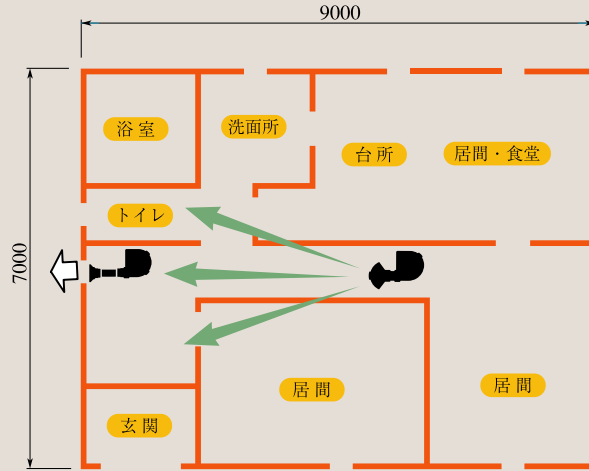
タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について



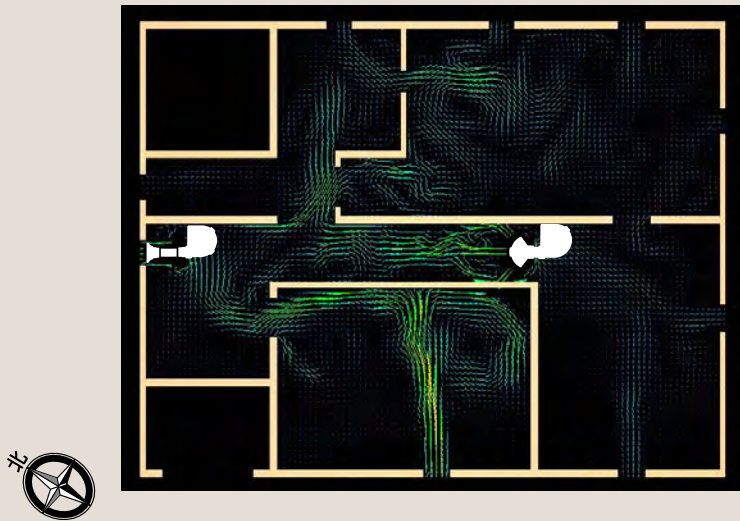
拡散型の吸込み力を使って中間ファンとして利用し、風の流れを一定方向にして排気する設置法

タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について

Type
A

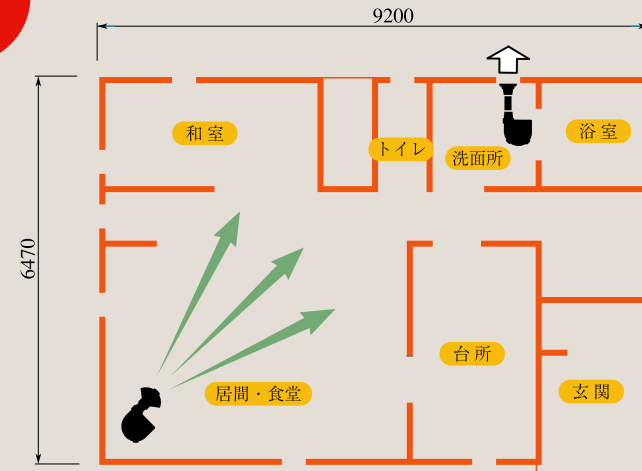


19坪

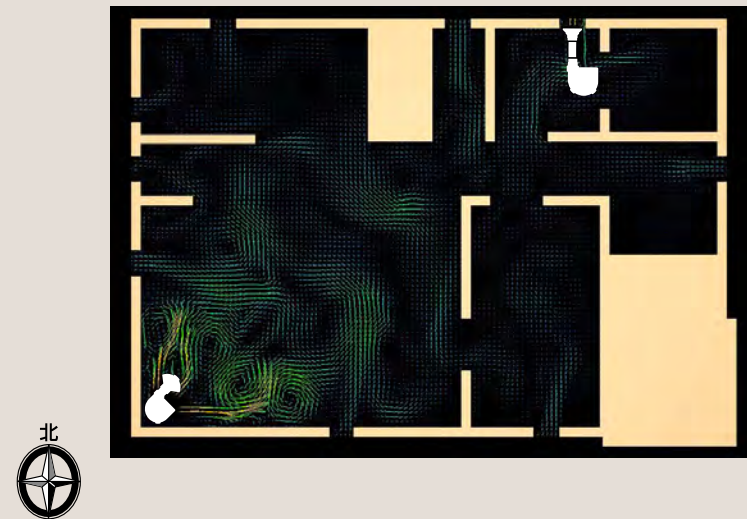


拡散型の吸込み力を使って中間ファンとして利用し、風の流れを一定方向にして排気する設置法

Type
A



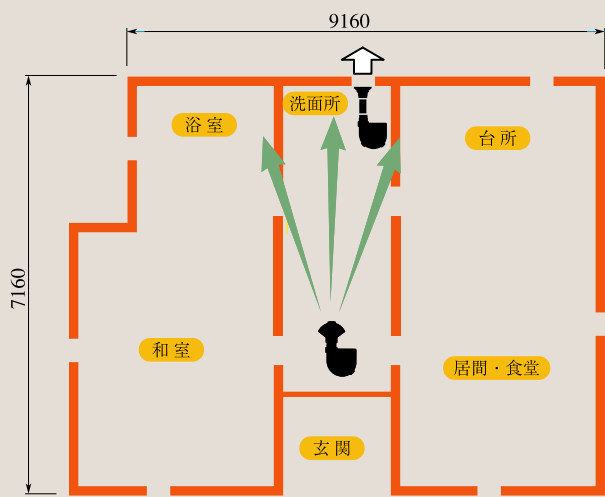
18坪



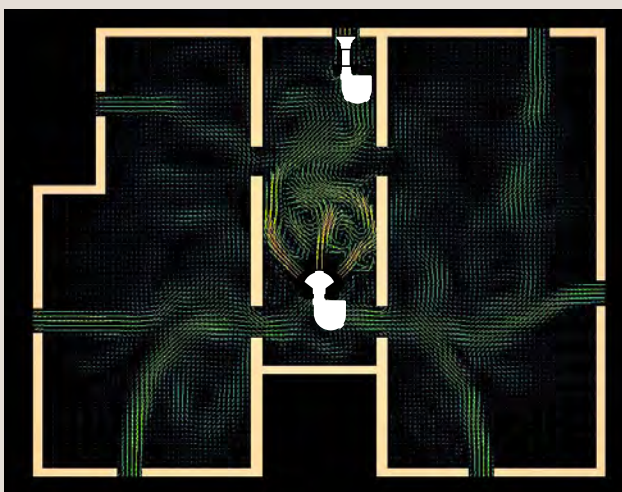
近くに換気口の無いコーナー部分から、積極的に送風することにより、床下全体の風の流れを作り、排気をアシストする設置法

タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について

Type A

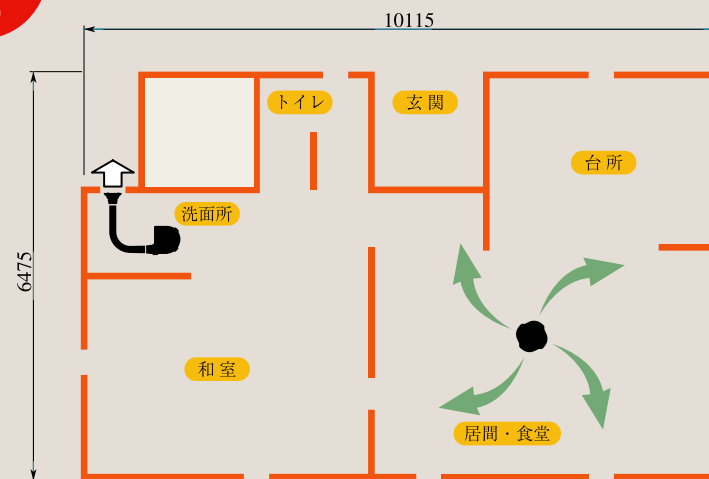


19坪

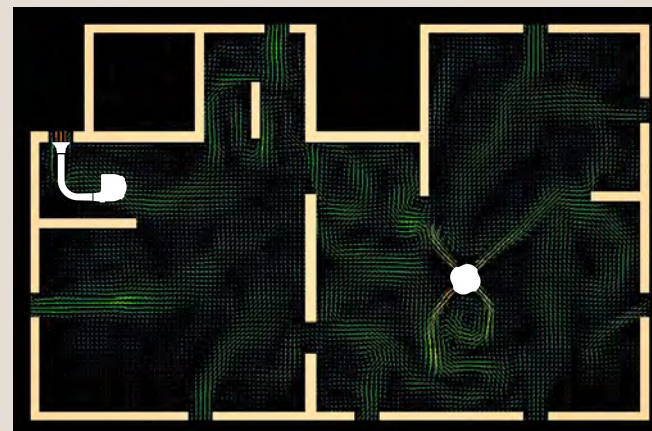


左右の独立した空間から、拡散型の吸込み力を利用し、中央に集約して排気型をアシストする設置法

Type B

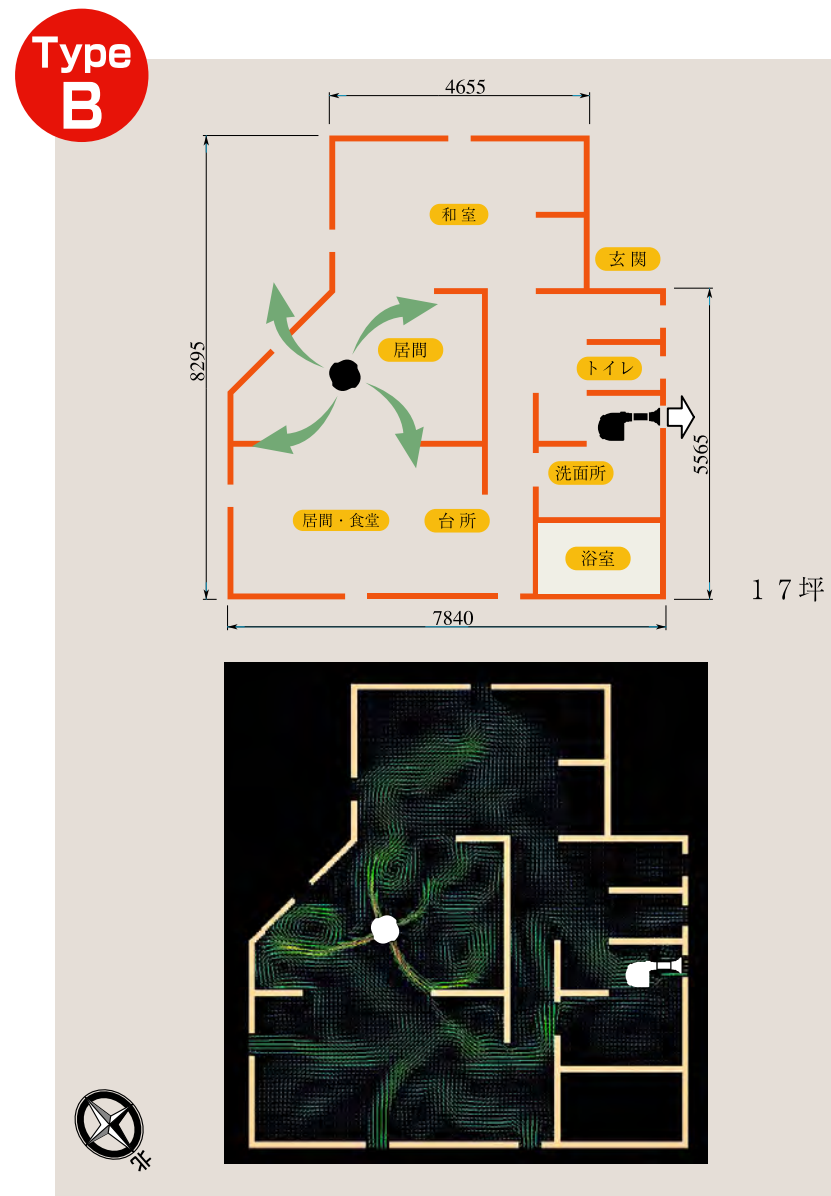
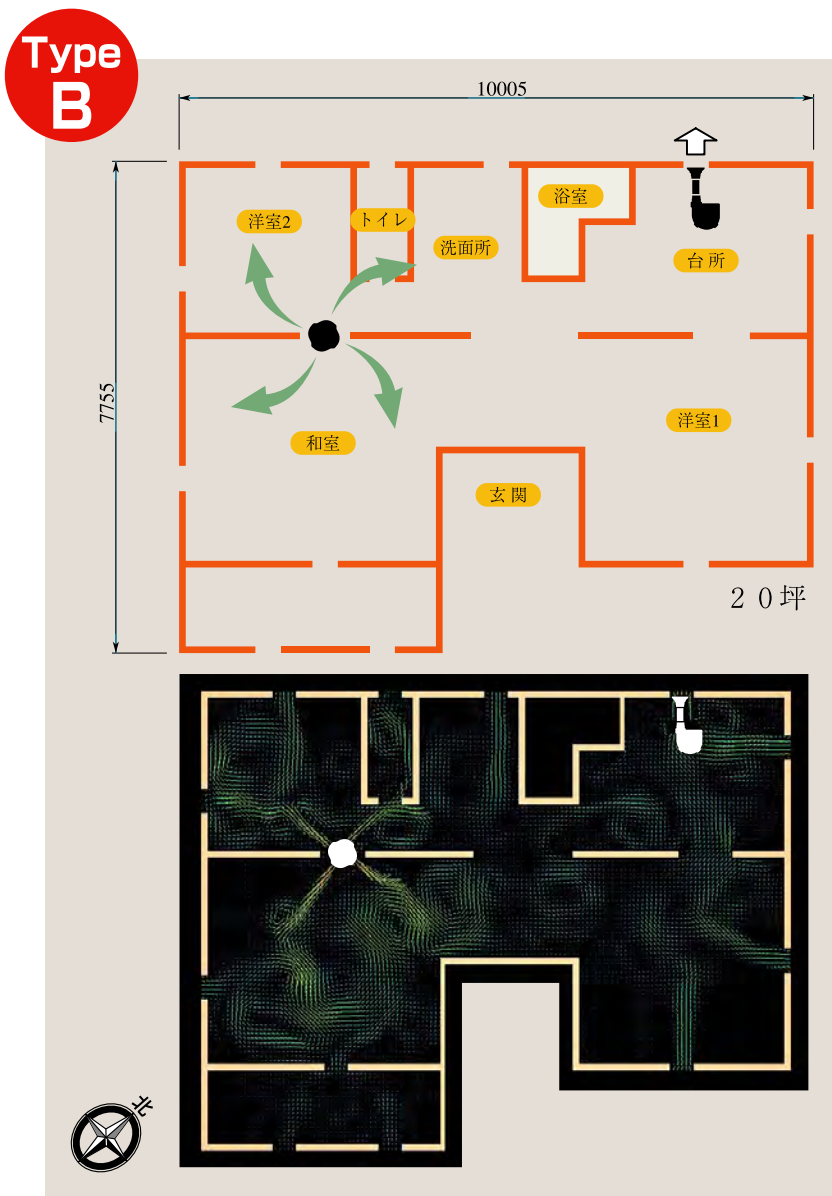


20坪



独立した空間のよどみを無くすよう積極的に攪拌して風の流れを作る設置法

タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について



独立した空間のよどみを無くすよう積極的に攪拌して風の流れを作る設置法